

地域の人の居場所づくり

子ども食堂「かがやき食事会」を3年前から月1回行っている大林さんご夫妻。毎回60〜70人の地域の人たちが集まります。子どもは40人ほど。「7人に1人の子どもが貧困の状態にあると聞いて、そんなにいるとは思わなかった」と語るご夫妻。もともとご飯を作るのが得意で食品衛生責任者の資格も持っていた輝代さんが「場所もあるし、やりたいな」と思ったそうです。

月1回の子ども食堂。もちろん食事が中心ですが、読み聞かせや外遊びなど、その都度、あそびのメニューも考えています。「子どもたちがもりもりとよく食べてくれるのがうれしい。年代の違う子どもたちが集まるので、年上の子どもが小さい子どもをよく見られる」と2人で目を細めます。

食事のスタッフは、輝代さんの趣味の仲間たち。「食材も地域の人が持ち寄ってくれる。地域の皆さんに協力してもらっているから続けられているんです」と語る重雄さん。地域のお年寄りからの要望で「シルバー食事会」も始めているというご夫妻。「子どもや地域の人の居場所づくりになればうれしい」と語っていました。



子ども食堂「かがやき食事会」を主宰

おおぼやし **大林** しげお **重雄**さん・てるよ **輝代**さん(本動堂)

Profile

3年前から自宅敷地内で、子ども食堂「かがやき食事会」を主宰する。新型コロナウイルス感染防止のため、3〜5月は中止。6・7月は弁当の配布を予定している。

知って得する♪ 耳より情報

暑い夏、ナスを食べて、乗り切ろう！

収穫時期を迎えた県の夏秋ナスは全国出荷量4年連続日本一。市でも非常に多く生産されています。

ナスには体の熱を逃がす働きがあるカリウムや、皮には眼精疲労の緩和に効果があるナスニンが含まれています。

一品料理やみそ汁、漬物など調理方法も豊富ですので、夏バテ予防に旬のナスを食べてみてはいかがでしょうか。

